

平成15年度下期「福島第二品質監査部」の活動状況報告 について

1. 業務品質監査 (平成15年10月~平成16年3月監査実施分)

注) 以下、資料中の「ISO」はISO9001-2000を表す。

件名	監査実施日	監査結果		是正処置計画 【完了日,完了予定日(3/31現在)】
		監査概要	指摘・要望事項	
【原子炉施設保安規定遵守に関する業務】 「2号機原子炉格納容器漏えい率検査」実施状況監査	H16.2.9(月) H16.3.28(土)	2号原子炉格納容器漏えい率検査に関して、監査を実施した。 (1)システム監査 a.「原子炉格納容器漏えい率検査の実施方針」に対する適合性 実施方針の記載事項が確実に実施されていることを確認した。 b.手順書、要領書(1号機 原子炉格納容器漏えい率検査実施要領等)に対する適合性 手順書 要領書がJEAGの規定事項を満足していることを確認した。 (2)プロセス監査 システム監査で適合性を確認した項目の有効性を確認するため、計器校正、計器取付・調整に至るまでの各検査項目について、手順書、要領書どおり検査が実施されていることを確認した。 なお、検査の準備段階での不適合により作業が中断し、4月に検査を再開する予定である。	<指摘事項> 「異物混入防止要領」に基づいて、専任監視人はD/W内に持ち込まれた物品が持ち出される際には、台帳と照合して確実に確認すること。(ISO9001:7.5.1 関連) 検査における役割を示すための腕章を確実に付けること。(ISO9001:5.5.1 関連) 品質保証確認チームは、基本方針が周知されたことを確認すること。(ISO9001:8.2.3 関連) <要望事項> 異物混入防止チェックシートには、正確に記入すること。(ISO9001:7.5.1,7.5.4 関連) 検査実施方針の説明会などを開催していたが、欠席者に対する追加説明を実施すること。また、協力企業で実施された教育の実施記録を作成すること。(ISO9001:6.2.2.b) 関連) 検査実施要領書の改訂管理を確実に実施すること。(ISO9001:4.2.3d)) 検査準備期間中に、立入規制を行っている検査エリア内で改造工事が実施されていたが、立入規制の目的を考え工程調整を行うこと。(ISO9001:7.1 関連) 初めて使用するチェックシートについては、記入方法を周知すること。(ISO9001:8.5.3 関連)	<指摘事項> 要領、計画書改定及び教育実施記録により確認(3/3) 腕章配付を確認(2/16) 周知結果を確認(3/15) <要望事項> 要領、計画書及び教育実施記録により確認(3/3) 教育実施記録を確認(3/12) 改定完了を確認(3/9) 工程調整及びイントラ掲載を確認(3/12) 4号検査前に実施予定
【臨時監査】 (S/Cへの異物混入再発防止対策)	H15.10.31(金) H15.11.6(木) H15.11.7(金) H15.11.13(木) H15.12.1(月)	2号機のサブプレッション・チェンバー(S/C)の異物回収工事及び「道工具管理及び異物混入防止管理徹底キャンペーン」の実施状況の監査を実施した。 なお、再発防止対策の実施状況は、後日臨時監査で確認する。 S/C異物回収は、工事施工要領書等に従って的確に実施されていた。	<要望事項> 異物回収に立会った当社工事監理員の氏名が、作業日報と異物確認記録とで異なっていた。確認記録には、立会った工事監理員が捺印するよう要望する。(ISO9001:4.2.4 関連) 現場掲示の工事施工体制表に二次下請会社を記載すること。(ISO9001:7.1 関連) 作業員名簿において異物監視員を確認できるようにすること。(ISO9001:7.1 関連) 良好事例の紹介については、実施計画のとおり展示すること。(ISO9001:7.1 関連)	<要望事項> 監理員に周知を確認(2/26) 文書指示を確認(2/26) 要領改定依頼を確認(2/26) ポスター掲示を確認(2/26)
【臨時監査】 「発電所請負工事の安全・品質管理に関する臨時監査」(重層下請)	H15.12.01(月) H15.12.04(木)	工事での、当社要求事項(異物混入防止・防火対策・安全対策・不適合報告)に関して、当社、元請及び下請(一次・二次)での実施状況を、「誰が、どのように」の観点から監査を実施した。 ・二次下請の異物混入防止対策では、専任の監視人が選任され、チェックシートによる員数管理を実施していることを確認した。	<指摘事項> 当社マニュアルでは「残火確認を実施する」ことが規定されているが、現場での運用実態と異なっているため、是正すること。(ISO9001:7.1 関連) 当社工事監理員は、マニュアルによれば、工具管理・機材管理において機器組立前に員数確認を行うと規定されているが、現場での確認はしておらず、機器組立完了後に書類確認を行っている。当社工事監理員に要求される役割を明確にすること。(ISO9001:8.2.4 関連)	<要望事項> 是正処置管理票を2枚発行し、是正計画を1月27,29日に受理した。 是正処置完了予定は5月9日である。
【臨時監査】 「不適合管理委員会(H15.12.19)に関する臨時監査」	H15.12.25(木) H16.01.05(月) H16.01.07(水)	平成15年12月19日(金)の不適合管理委員会で「3,4号機原子炉発電設備の健全性評価等に関する小委員会及び3号機自主点検報告書並びに2号機シュラウド中間胴等のひびについての報告書の誤記」が審議されたが、公表すべき日になって、「国への報告が済んでおらず、県へも報告できなかったため、国への報告後、再度不適合管理委員会に報告すること」として、当該不適合件名を除いた件名のみ公表を行った。 この情報公開に関する不適合について、広報部及び不適合管理委員会並びに福島事務所に対する事実確認を行った。	<指摘事項> 不適合管理委員会の審議したもので、未公表のものが1件あったため、速やかに不適合事象を公表すること。(ISO9001:7.5.1 関連,ISO9001:7.2.3 関連) 公表方法に関わる手引きでは、全てホームページに掲載するとしている。しかし、実際には公表前に県へ説明し、了解を得ているため、公表遅れが生じた。ルールどおり運用するか、ルールの見直しを行うこと。(ISO9001:7.5.1 関連,ISO9001:7.2.3 関連) 不適合管理委員会で審議されたが、国への報告が済んでいないことから、県へも報告が出来なかったため、国への報告後、再審議することとした。報告された全ての不適合事象について遅滞なく審議すべきである。(ISO9001:7.5.1 関連,ISO9001:7.2.3 関連)	公表されたことを確認(2/5) 現行ルールの再徹底を確認(2/5) 遵守の再周知を確認(2/5)

【臨時監査】 「SRI操作パネルの鍵所在不明に関するフォローアップ」	H15.12.10(水) H15.12.11(木)	1号機起動時(8月29日)に、試験盤の扉鍵の返却忘れにより、出力上昇操作が遅れるという事象が発生したため9月臨時監査を実施し、鍵管理要領の遵守徹底等を指摘した。今回はこの指摘の是正処置状況についてのフォローアップ監査を実施した。 ・好事例として、3,4号の鍵管理台帳で、鍵の使用場所が容易に特定でき鍵を探しやすくする工夫をしていた。	<指摘事項> 不適合報告書作成が遅いものがあった。速やかに作成すること。(不適合管理マニュアル) <要望事項> 鍵の使用目的、使用期間に応じた管理ができるようにすること。(ISO9001:4.2.4 関連) 鍵の紛失等が発生した場合の、対応手順を定めること。(ISO9001:8.3a) 関連) 運転に関わる重要度に応じた鍵の管理を検討すること。(ISO9001:4.2.1d) 関連)	<指摘事項> 迅速な作成再周知を確認(2/26) <要望事項> は要領改定を4月に実施する予定であることを確認(2/26) 現行通りの管理を確認(2/26)
【日常業務に関する業務】 技術部 技術G 発電部 運転支援G 技術部 防護管理G 技術部 原子力防災G 広報部 企画広報G 保全部 電気機器G 原子力検査官G 施設管理G 技術部 環境化学G 保全部 保全計画G	H15.10.23(木) H15.10.29(水) H15.12.2(火) H15.12.24(水) H16.1.8(木) H16.1.27(火) H16.1.29(木) H16.2.23(月) H16.2.26(木) H16.3.29(月)	マニュアル・其他文書の整備状況に加えて、下記の各グループ固有業務の実施状況の監査を実施した。 文書・記録の管理業務の実施状況 運転操作手順書類検討状況、プラント起動時連絡会実施状況等 発電所防護施設の管理実施状況 原子力防災に関する手続、防災訓練計画、危機管理等の実施状況 県、町への通報連絡業務の実施状況・プレス資料の整備状況 事務本館の電源設備取替工事の管理業務の実施状況 原子力保安検査官対応業務の実施状況 業務の計画と実施、教育、試験・検査、不適合管理等の実施状況 環境放射線管理設備点検・保守業務の実施状況 業務実施計画の策定状況、関連部門との調整作業の実施状況	<要望事項> (技術G) ・文書・記録の保管に関する運用方法、責任範囲など、管理方法を明確にすること。他7件 <要望事項> (運転支援G) ・文書改定に伴う差し替えは速やかに実施すること。他1件 <要望事項> (防護管理G) ・チェックシートは、点検月日が分かるようにすること。他1件 <指摘事項> (原子力防災G) ・「危機管理体制の整備」計画の目標達成に向けて、実施すること。他1件 <指摘事項> (企画広報G) ・不適合事象の公表に関わる運用で、手順と実態が異なっているため改定すること。他要望2件 <要望事項> (原子力保安検査官G) ・組織改編に伴う手引きの改定を行うこと。 <要望事項> (保全計画G) ・検査手引きで、資格制度に伴う改定を早急に行うこと。他1件	各指摘・要望事項について、是正処置管理票を作成し、是正計画、是正処置完了を確認している。

2. 不適合処理状況監査

(1) 不適合処理報告書受付件数：1,756件(平成15年10月1日~平成16年3月31日受付分)

注：受付したもののうち、プレス発表を伴う事項等に相当(グレードAs)が24件、国・地方自治体へ情報提供した事象等に相当(グレードA)が32件であるが、積極的情報公開の推進するためのA扱いを含んでいる。

(2) 不適合処理状況監査

平成15年10月~平成16年3月に受け付けた不適合事象の中から「不適合報告書」6件をサンプリングし、不適合事象の処理が適正に行われているかどうかの視点から監査を実施した。代表例を以下に示す。

監査対象 処理期間	監査実施日	監査結果		是正処置計画 【完了日,完了予定日(3/31現在)】
		監査概要	指摘・要望事項	
平成15年10月 平成16年3月	H15.11.5(水)	「1~4号機共用補助ボイラ設備 電極蒸気漏れ検知孔からの水漏れ」について、不適合事象発生時の不適合に対する判断及び報告に関する実施状況を書類確認、ヒアリングにより監査を実施した。	<指摘事項> 不適合報告を確実に報告すること。(ISO9001:7.1 関連) 作業の結果は、確実に記録し、保存すること。(ISO9001:4.2.4 関連) <要望事項> 合否判定に関わる数値は、確実に記録して残すこと。(ISO9001:4.2.4 関連)	<指摘事項> 報告することを再周知したことを確認(12/9) 記録用紙改定を確認(12/9) <要望事項> 記録用紙に記載されたことを確認(12/9)
	H15.11.26(水)	「3号機AM設備用空気ポンベ口金(ポンベ元弁)の全閉について」について、不適合処理状況監査を書類確認およびヒアリングにより実施した。	<要望事項> AM設備用空気ポンベの元弁の開閉状態が識別できるよう表示すること。(ISO9001:7.5.3 関連)	識別タグの取付けの周知を確認(1/19)
	H16.2.24(火)	「1-4T 碓洗防災設備修理工事における埋設電線管損傷の不適合について」について、不適合処理状況をヒアリングにより確認、監査を実施した	<要望事項> 掘削及び穿孔作業における、埋設物損傷防止の再発防止対策の検討を要望する。(ISO9001:7.1 関連)	是正処置管理票を発行し、4月8日に是正処置計画が提出される予定。
	H16.2.27(金)	「2号機 R/B HVACトリップの不適合」について、不適合発生時の処置・不適合報告、不適合管理及び是正処置(再発防止)状況の適切性を検証するため、不適合処理状況をヒアリングにより確認、監査を実施した。	<要望事項> 中央操作室の計器には、点検中表示を確実に実施すること。(ISO9001:7.5.1 関連) 安全処置のセルフ操作は、グレードに応じた事前検討を実施すること。(ISO9001:7.1 関連)	是正処置管理票を2枚発行し、4月9日に是正処置計画が提出される予定。

3. 発注先品質監査について

協力会社4社の品質保証活動実績等について、監査を実施した。(平成15年10月20日~平成16年3月12日:協力会社)

以上